

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解 科目コード：130012 人間病態学演習Ⅱ Practicum:Human Pathology Ⅱ					
担当教員	今井 美和				
実務経験	病院勤務経験のある教員が担当している。				
開講年次	2年次前期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	病理、先天異常、循環障害、代謝障害、腫瘍				
学習目的・目標	目的：先天異常疾患、循環障害を呈する疾患、代謝性疾患、腫瘍性疾患の病態を形態観察を通して理解する。 目標：病理学および微生物学の専門用語を用いて、これらの病態を説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	オリエンテーション 先天異常： 常染色体数の異常疾患、性染色体数の異常疾患、 常染色体顕性遺伝病、常染色体潜性遺伝病、X連鎖潜性遺伝病				
3-6	循環障害： 門脈圧亢進症、ショック、高血圧、肺高血圧 循環障害を呈する疾患： 虚血性心疾患、動脈瘤、静脈瘤、肺塞栓症、脳血管障害など				
7-10	代謝障害： 脂質、糖質、タンパク質、核酸、無機物、色素の代謝性疾患、ビタミン過剰症、ビタミン欠乏症				
11-15	腫瘍性疾患： 呼吸器系、消化器系など				
教科書	カラーで学べる病理学（ヌーヴェルヒロカワ） ビジュアル微生物学（ヌーヴェルヒロカワ） 人間病態学（病気の成り立ち）プリント 人間病態学演習Ⅰプリント 人間病態学演習Ⅱプリント				
参考図書等	ルービン カラー基本病理学（西村書店）				
評価指標	定期試験の受験資格：履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 70% ＋ レポート 20% ＋ 受講態度等 10%で評価する。				
関連科目	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅰ、疾病障害論、薬理学、公衆衛生学				
教員から学生へのメッセージ	解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学(病気の成り立ち)、人間病態学演習Ⅰで学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。				